

飯塚遺跡出土木簡・国見田舎歌舞伎が 新たに市指定文化財に

国東市教育委員会は、7月18日(金)、2件の文化財を市指定文化財に指定しました。

指定を受けたのは、「飯塚遺跡出土木簡ほか(66点)」(有形文化財)と「国見田舎歌舞伎」(無形民俗文化財)で、市教育委員会から諮問を受けた国東市文化財調査委員会(会長猪俣光俊)の答申を経て指定されました。

今回の指定により、市の指定文化財(登録含む)は、433件(うち国指定14件、県指定92件、市指定308件、国登録19件)となりました。

有形文化財



■木簡出土状況

※木簡とは、紙がまだ貴重であった古代において、墨で文書を書き付けた木の札です。古代の役所の公文書等は、全てこの木簡でした。

名称: いづかいせきしゅつどもつかん 飯塚遺跡出土木簡ほか(66点)

所在地: 国東市国東町安国寺

(国東市歴史体験学習館内)

所有者又は管理団体等: 国東市

概要: この木簡は、平成11年にアストくにさきの建設に伴う発掘調査で出土したもので、墨書土器(文字を書いた器)や、掘立柱建物跡とともに発見されました。

年号(西暦835年、平安時代の初め)等が書かれた木簡の出土は県内で初めてであり、かつ最古のもので、古代のくにさきを研究するうえで貴重な歴史資料です。

無形民俗文化財



■「英彦山権現誓助太刀六助住家の段」

名称: くにみいなかかぶき 国見田舎歌舞伎

所在地: 国東市国見町伊美

所有者又は管理団体等: 国見田舎歌舞伎保存会
(会長 堀田 一則)

概要: 約200年にわたり国見町に伝えられてきた農村歌舞伎で、これまで何回も消滅の危機に遭いながらも乗り越え、青年団、公民大学・歌舞伎教室や愛好会によって受け継がれてきました。

平成20年3月、「国見町田舎歌舞伎愛好会」を発展的解消し「国見田舎歌舞伎保存会」を設立。国東市の宝として市内に広め、定期的な公演や後継者育成を図っています。

問い合わせ 文化財課 ☎0978-72-2677